

道しるべ

ひたちなか市立勝田第二中学校
進路だより 第3号
令和7年5月30日（金）発行

5月28日に、前期中間テストが行われました。1年生は、中学校に入学して初めての定期テストでした。また、これまでに学んだことの定着度を図るテストでしたが、どうだったでしょうか。間違ったところはしっかり復習して今後にいかしていきましょう。

先月号は、令和6年度の卒業生の進路についてお知らせいたしました。今回は中学校卒業後の進路について特集します。1年生と2年生は、十分に時間をかけながら卒業後の進路を考えていきましょう。3年生は、自己実現のための具体的な進学先や就職先の候補を絞り込んでいきましょう。

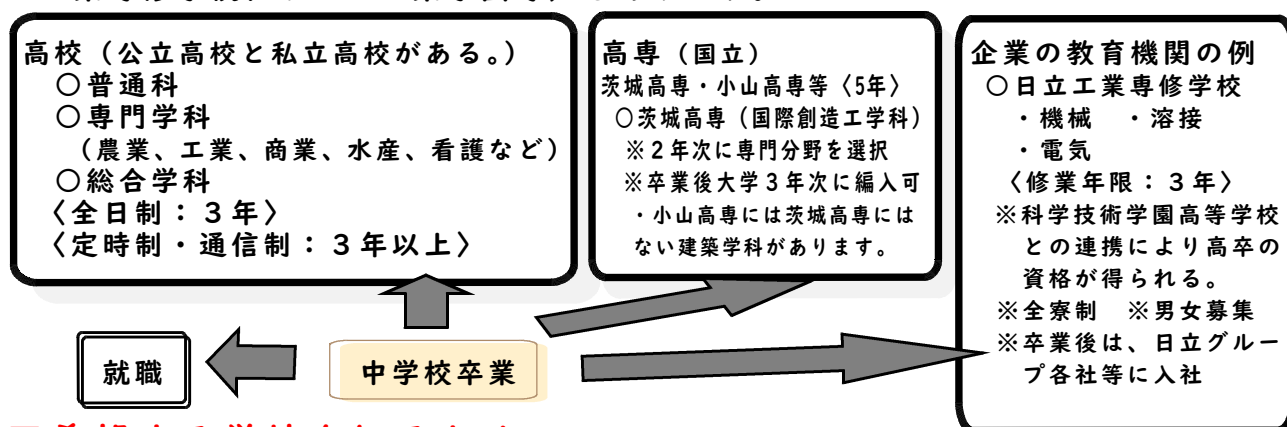


中学校卒業後の進路を考える

皆さんは、中学校3年間の短い期間の中で、将来、自分が進む道を考えていかなければなりません。3年生はもちろん、1、2年生の皆さんも、将来の目標や夢、希望について、日頃から家の人と話し合っておくことが大切です。

そして、様々な情報を活用しながら、自分に合ったよりよい進学先・就職先を考えていきましょう。特に、自分の個性と適性を見つめながら考えることが大切です。

なお、進学先は高等学校だけではなくありません。高等専門学校や企業の教育機関（日立工業専修学校、トヨタ工業学園等）もあります。



■希望する学校を知るために

学校を知るには、身近な先輩の生の声を聞くのが一番です。しかし「百聞は一見にしかず」という言葉もあるように、自分の将来を見通し、より良い学校生活を送るためには、自分の目で確かめてみることも必要です。学園祭や文化祭などに出かけ、そこで活躍している生徒や校舎の様子を見れば学校の雰囲気もつかめるでしょう。遠くから眺めていた学校が身近に感じられ、思わぬ発見をすることもあります。特に3年生は、高校説明会や体験学習（部活動体験も含む）が夏休みを中心に行われます。その学校の授業の内容等を知る上で、またとない機会です。ぜひ、参加してみてください。



■豊かな学校生活を送るために

各学校では様々な工夫がなされ、生徒の進路希望をいかすためにコース制を取り入れている学校、多様な資格を取れる学校、国際交流に力を入れている学校、学校行事に特色をもたせている学校、部活動の盛んな学校など、学校によって様々な特色があります。多感な高校時代を豊かなものにするためには、学習面はもちろん学校生活全体を通して学ぶべきものがたくさんあります。自分の進むべき方向を見定めた上で、自分を生かせる学校はどこかを見極めることが大切です。

